

# 地域適応策検討分科会

---

令和2年10月23日

関東地方環境事務所  
(みずほ情報総研株式会社)

## 地域適応策検討分科会 ① 概要

### テーマ：地域の脆弱性の再整理を通した市区町村等の適応

気候変動適応の取組において市区町村等の役割は大変重要であるが、市区町村等において適応を推進するための情報が十分整理されていない。このため、市区町村等における脆弱性やリスクについて意見交換会等で意見を収集し、広域的な取組が重要と思われる課題を抽出した上で、それに対する適応策を収集し、事例集として取りまとめる。

**<アドバイザー>** ※敬称略  
法政大学 教授 田中 充

**<オブザーバー>**  
なし

#### <実施体制>

地域適応策検討分科会の実施体制は右のとおり。  
気候変動適応室・関東地方環境事務所と緊密に連携し協力を図り、広域協議会および地域適応策検討分科会を開催・運営する。  
(現時点では、調査の協力機関の想定はない。)

<メンバー>		(8/14現在 ※8月末に分科会メンバーの追加募集を実施予定)
種別	メンバー	
地方公共団体	栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、横浜市	
地域気候変動適応センター	栃木県環境森林部、埼玉県環境科学国際センター	
地方支分部局	経済産業省 関東経済産業局	
企業 ほか	—	



## 地域適応策検討分科会 ② 課題認識と想定されるアウトプット

### 現状の課題認識

- ・気候変動影響は地域によって様々であることから、適応において、市区町村等が果たす役割は重要である。
- ・一方、市区町村等における課題、適応策事例に関する情報が十分に整理されていない。また、情報を収集するためのノウハウも十分に蓄積されていない。そのため、市区町村等が主体的に気候変動適応に取り組むことが困難な状況にある。

### 調査方針

- ・3年間の事業を通して、市区町村等が適応を進めていく上での参考情報を整備する。このとき、環境省「地域気候変動適応計画策定マニュアル」（以下、「マニュアル」という。）のSTEPに沿って参考情報を整備する。
- ・1年目は関東管内の3都県と共に、市区町村等を対象とした意見交換会を開催し、市区町村等における課題を洗い出す。
- ・本事業の分科会や意見交換会に参加していない市区町村等であっても、今後、気候変動適応に取り組みやすい環境を形成するため、課題の抽出に当たって必要な情報・課題・ノウハウを合わせて整理する。

### 想定されるアウトプット

- ・市区町村等が地域で適応を進める上での課題およびノウハウの取りまとめ資料
- ・市区町村等で実施されている適応策を取りまとめた適応策事例集

### 現状の課題認識および本事業でのアプローチ

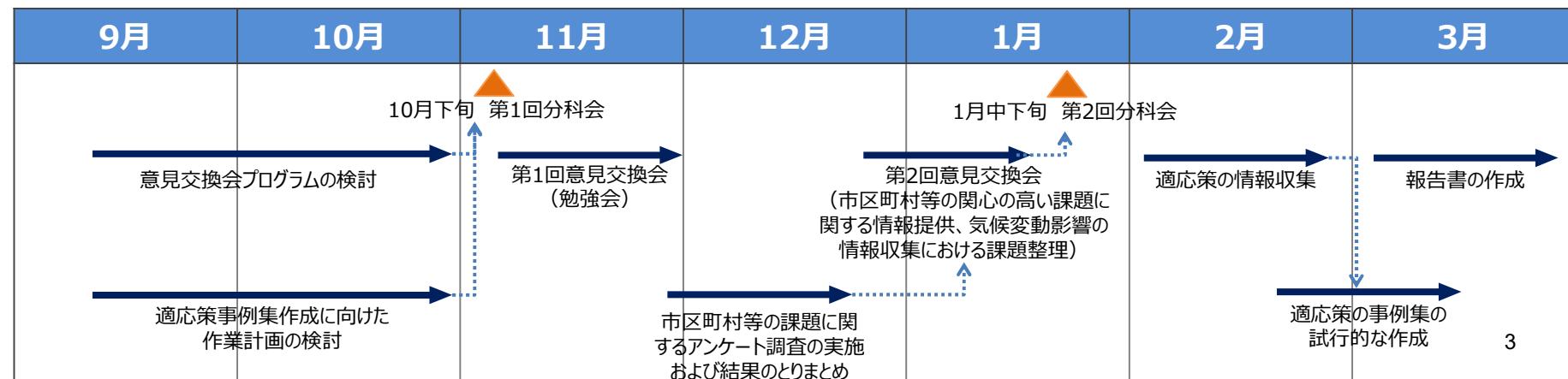
現状の課題認識および本事業でのアプローチ	
	本事業でのアプローチ
市区町村等が適応を進めていく上での課題 (自治体ヒアリングは未実施)	<p>令和2年度実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義等を通して気候変動影響・適応に関する知見を提供する。</li> <li>・市区町村等における7分野の気候変動影響に関する情報をとりまとめる。</li> <li>・先進自治体の事例紹介等を通して、気候変動影響の情報収集時における課題・ノウハウをとりまとめる。</li> <li>・先進自治体の事例紹介や分科会での議論を通して、優先順位の付け方に関するノウハウを取りまとめる。</li> </ul>
本事業では対象外（国および都道府県が着手した後、市区町村等で実施されると想定するため）	<p>令和2年以降の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市区町村等単位で実施できる適応策オプションをとりまとめ、適応策事例集を作成する。</li> <li>・適応策の情報収集時におけるノウハウ、課題に関するとりまとめる。</li> </ul>

## 地域適応策検討分科会 ③ 令和2年度実施計画

### <実施業務及び手法>

項目	調査の方法/とりまとめの方法
意見交換会（3都県程度で各2回程度、30名程度、半日程度）を通じた、市区町村等の課題に関する情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>栃木県、東京都、神奈川県の市区町村等を対象に意見交換会を開催する。</li> <li>意見交換会では、市区町村等担当者の気候変動影響・適応に関する理解の底上げを目指す勉強会の開催や、市区町村等の関心が高い課題に関する予測情報を提供する。</li> <li>また、市区町村等の課題を効率的・網羅的に洗い出すため、アンケート調査を実施する。</li> </ul>
分科会関係者の課題認識に関する意識調査の実施、及びとりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回の意見交換会を通して、市区町村等が気候変動影響に関する情報を収集・整理する際の課題、対応策を整理。</li> <li>挙げられた課題を基に、来年度以降に実施するモデル調査の対象自治体を検討する。</li> </ul>
市区町村等が実施している適応策の情報収集、整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換会で抽出された市区町村等の課題の中から、優先的に適応策の検討対象とする分野を決定する。このとき、市区町村等における優先度の付け方を検討する。</li> <li>対象となった分野について、市区町村等が実施している先行的な適応策の情報を収集する。</li> </ul>
地域の課題への適応策 事例集作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>適応策事例集の作成に向けた3年間の実施スケジュールを確定する。</li> <li>上記項目で収集した適応策情報を整理し、適応策事例集を試行的に作成する。</li> </ul>

### <令和2年度 スケジュール>



## 地域適応策検討分科会 ④ 実施計画（令和2-4年度）

活動	令和2年度	令和3年度	令和4年度
課題整理 調査計画 の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動影響の情報収集、優先度の付け方（マニュアルのSTEP1～4）に係る課題・ノウハウの収集・整理</li> <li>調査計画の策定</li> <li>モデル自治体選定に向けた準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施策および適応オプションの情報収集（マニュアルのSTEP5～6）に係る課題・ノウハウの収集・整理</li> <li>モデル自治体における適応の推進に向けた課題・ノウハウの収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域適応計画策定における課題およびノウハウのとりまとめ（令和2、3年度に収集した情報のとりまとめ）</li> <li>モデル自治体における実施内容の取りまとめ</li> </ul>
地域適応 計画策定 に向けた 情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来気候シナリオ予測（気温、湿度、降水量他）の収集</li> <li>市区町村等における気候変動影響（課題）の洗い出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区町村等における気候変動影響の優先度の付け方に関する先行事例等の収集・整理</li> <li>市区町村等で実施されている適応策事例の収集・整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区町村等における気候変動影響の優先度の付け方に関する最新事例の追加的な収集・整理</li> <li>市区町村等で実施されている最新の適応策事例の収集・整理</li> </ul>
適応策 事例集	<ul style="list-style-type: none"> <li>適応策事例集のフォーマット（適応策の整理軸など）の検討</li> <li>試行的な適応策事例集の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区町村等における気候変動影響の優先度の付け方の検討・整理</li> <li>適応策事例集のフォーマットのブラッシュアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区町村等における地域適応計画策定のポイントのまとめ</li> <li>適応策事例集の作成</li> </ul>